

5. プログラム

シンポジウム 1

13:00 ~ 14:30

がんゲノム医療の現状と将来展望

司会：島田英昭
加藤直也

東邦大学大学院消化器外科学 教授
千葉大学大学院医学研究院 消化器内科学 教授

共催：中外製薬株式会社

S1-1 遺伝子パネル検査を用いた胃がん・大腸がんの治療戦略、 いまとこれから

砂川優

聖マリアンナ医科大学臨床腫瘍学講座 主任教授

S1-2 胆膵癌におけるゲノム医療の現状と今後

上野誠

神奈川県立がんセンター 消化器内科 部長

S1-3 子宮内膜癌、卵巣癌における molecular subtype, コンパニオン診断の考え方とゲノム医療の意義

織田克利

東京大学大学院医学系研究科 医用生体工学講座 統合ゲノム学分野 教授

シンポジウム 2

16:00 ~ 17:30

予防医療を見据えたがんスクリーニングマーカー開発の展望

司会：三善英知
中川 良

大阪大学 生体病態情報科学講座 教授
千葉大学次世代予防医療創生講座 特任准教授

共催：大宮シティクリニック

S2-1 細胞外小胞を用いた NAFLD 発がん予測や NAFLD 予防法の展望

江口暁子

三重大学医学部附属病院 バイオバンクセンター (消化器内科学) 准教授

S2-2 非アルコール性脂肪性肝疾患 (NAFLD) の非侵襲的診断法

鎌田佳宏

大阪大学大学院医学系研究科生体物理工学 教授

S2-3 エクソソームを用いた肺がんに対する診断法開発

藤田雄

東京慈恵会医科大学 総合医科学研究センター 次世代創薬研究部

S2-4 膵がん診断を補助する血液バイオマーカー apolipoprotein-A2 アイソフォームの同定と体外診断医薬品としての臨床開発

本田一文

日本医科大学大学院医学研究科 生体機能制御学分野 大学院教授

2022 年度今井浩三賞受賞記念講演・2023 年度今井浩三賞表彰式

17:30 ~ 18:05

司会：加藤直也 千葉大学大学院医学研究院 消化器内科学 教授
本田一文 日本医科大学大学院医学研究科 生体機能制御学分野 大学院教授

腫瘍マーカー研究の成果と今後の展望

山下継史

北里大学医学部 新世紀医療開発センター 先進外科腫瘍学

奨励賞表彰式・閉会式

18:05 ~ 18:20

一般演題 1 (★は奨励賞評価対象演題です)

9:10 ~ 10:00

司会：佐伯浩司
鈴木 拓

群馬大学 消化管外科
札幌医科大学医学部分子生物学講座

01-1 尿中 Exosome 抽出に際する尿の至適保存方法の検討

○香中 伸太郎、山田 岳史、上原 圭、進士 誠一、松田 明久、横山 康行、高橋 吾郎、岩井 拓磨、
武田 幸樹、栗山 翔、宮坂 俊光、吉田 寛
日本医科大学付属病院 消化器外科

01-2★ 血中細胞外小胞内変異タンパク質による新規腎癌リキッドバイオプシー技術開発

○箱崎 勇治^{1,2)}、山田 雄太²⁾、芳賀 淑美¹⁾、峯岸 ゆり子¹⁾、堀 公法¹⁾、久米 春喜²⁾、植田 幸嗣¹⁾
1) がん研究会・CPM センター・プロテオミクス解析グループ
2) 東京大学大学院 医学系研究科 泌尿器外科学

01-3 メチル化パネルアッセイによる多がん種同時検査システムの開発

○後藤 健吾¹⁾、山口 奈央子¹⁾、栗本 佑介¹⁾、脇田 舞子¹⁾、志村 諒¹⁾、高島 魁斗¹⁾、木山 由奈¹⁾、
佐藤 政寛¹⁾、横山 雄一郎²⁾、石原 聡一郎²⁾、佐々木 侑³⁾、長谷川 潔³⁾、豊原 佑典⁴⁾、曾根 献文⁴⁾、
永江 玄太⁵⁾
1) 富士フイルム株式会社、2) 東京大学医学部附属病院 大腸・肛門外科、3) 東京大学医学部附属病院 肝胆膵外科、
4) 東京大学医学部附属病院 女性外科、5) 東京大学先端科学技術研究センター

01-4★ がん特異的に発現する膜タンパク質を用いた血中循環がん細胞 (CTC) の検出

○立野岡 零^{1,2)}、塚本 信夫¹⁾、中面 哲也^{1,2)}
1) 国立がん研究センター先端医療開発センター免疫療法開発分野
2) 東京理科大学大学院生命科学研究科

01-5 Apolipoprotein-A2 isoform を利用した膵がん血液バイオマーカーの臨床開発

○加城 歩¹⁾、小林 道元²⁾、黄 敬徳²⁾、宮本 美津子²⁾、渥美 淳²⁾、長島 健吾³⁾、武内 恵子¹⁾、
奈良 聡⁴⁾、脇岡 範⁴⁾、森實 千種⁴⁾、菊池 正二郎⁵⁾、加藤 真吾⁶⁾、加藤 健⁴⁾、落合 大樹⁴⁾、
小畑 大輔⁷⁾、今村 聡²⁾、鎮目 裕也²⁾、武田 佳奈恵²⁾、小西 宏⁸⁾、野村 由美子⁸⁾、松山 琴音¹⁾、
久津見 弘⁷⁾、本田 一文¹⁾
1) 日本医科大学、2) 東レ株式会社、3) 慶應義塾大学病院、4) 国立がん研究センター中央病院、5) 兵庫医科大学、
6) 横浜市立大学、7) 滋賀医科大学、8) 日本対がん協会

02-1★ マルチオミクス解析を用いた TP53 変異型膵がんにおける治療標的分子の探索

○豊田 智章^{1,8,9)}、三浦 奈美²⁾、加藤 慎吾³⁾、増田 豪⁴⁾、大橋 隆治⁵⁾、松下 晃⁶⁾、松田 史生⁷⁾、大槻 純男⁴⁾、片倉 朗⁸⁾、本田 一文^{2,9)}

1) 帝京大学医学部附属病院 歯科口腔外科、2) 日本医科大学 先端医学研究所、3) 横浜市立大学附属病院 消化器内科、4) 熊本大学大学院生命科学研究部 微生物薬学分野、5) 日本医科大学大学院医学研究科 統御機構診断病理学分野、6) 日本医科大学付属病院 消化器外科、7) 大阪大学大学院情報科学研究科 バイオ情報計測学講座、8) 東京歯科大学 口腔病態外科学講座、9) 日本医科大学大学院医学研究科 生体機能制御学分野

02-2★ 食道扁平上皮癌における TIF1 γ 発現の意義

○山口 亜梨紗¹⁾、宗田 真¹⁾、細井 信宏¹⁾、渡邊 隆嘉¹⁾、中澤 信博¹⁾、大曾根 勝也¹⁾、岡田 拓久¹⁾、白石 卓也¹⁾、佐野 彰彦¹⁾、横堀 武彦²⁾、酒井 真¹⁾、小川 博臣¹⁾、調 憲¹⁾、佐伯 浩司¹⁾

1) 群馬大学 総合外科学講座
2) 群馬大学 未来先端研究機構

02-3★ 食道扁平上皮癌微小環境において癌関連線維芽細胞由来のペリオスチンが癌進展を促進する

○都 鍾智^{1,2)}、中西 崇^{1,2)}、大森 将貴^{1,3)}、鳥越 陸矢^{1,2)}、横尾 拓樹^{1,2)}、山中 啓太郎^{1,4)}、石原 伸朗^{1,3)}、塚本 修一¹⁾、安積 佑樹^{1,2)}、浦上 聡^{1,5)}、児玉 貴之¹⁾、西尾 真理¹⁾、重岡 学¹⁾、狛 雄一朗¹⁾、横崎 宏¹⁾

1) 神戸大・院医・病理学、2) 神戸大・院医・食道胃腸外科学、3) 神戸大・院医・肝胆膵外科学、4) 神戸大・院医・産科婦人科学、5) 神戸大・院医・消化器内科学

02-4★ リン酸化プロテオームと計算的アプローチの統合による胃癌治療薬 apatinib のバイオマーカー探索

○野島 陽水^{1,2)}、青木 雅彦³⁾、李 秀栄²⁾、平野 秀和³⁾、阿部 雄一⁴⁾、鳴海 良平²⁾、村岡 賢²⁾、庄司 広和³⁾、本田 一文⁵⁾、朝長 毅²⁾、水口 賢司²⁾、朴 成和⁶⁾、足立 淳²⁾

1) 大阪大学 数理・データ科学教育研究センター、2) 医薬基盤・健康・栄養研究所、3) 国立がん研究センター中央病院 消化管内科、4) 愛知県がんセンター研究所、5) 日本医科大学、6) 東京大学 医科学研究所

02-5★ 大腸癌における epigenetic master regulator BRD3 発現の腫瘍進展における生物学的意義と、治療選択のバイオマーカーとしての可能性

○橋本 雅弘^{1,2)}、増田 隆明¹⁾、久松 雄一¹⁾、戸島 剛男¹⁾、米村 祐輔¹⁾、植村 守²⁾、江口 英利²⁾、土岐 祐一郎²⁾、三森 功士¹⁾

1) 九州大学病院別府病院 外科、2) 大阪大学大学院医学系研究科 外科学講座消化器外科

02-6★ 結腸直腸癌における口腔細菌叢発現の臨床的意義

○松井 隆典¹⁾、山田 岳史²⁾、上原 圭²⁾、進士 誠一²⁾、松田 明久²⁾、横山 康行²⁾、高橋 吾郎²⁾、岩井 拓磨²⁾、武田 幸樹²⁾、栗山 翔²⁾、宮坂 俊光²⁾、香中 伸太郎²⁾、吉田 寛²⁾

1) 神栖済生会病院 外科
2) 日本医科大学付属病院 消化器外科

一般演題3 (★は奨励賞評価対象演題です)

11:00 ~ 11:50

司会：山下継史
粕雄一朗

北里大学医学部 先進外科腫瘍学
神戸大学大学院医学研究科病理学講座病理学分野

03-1★ 結腸直腸癌における *pks* 陽性 *Escherichia coli* 発現は有用な予後予測マーカーである

○林光希¹⁾、山田岳史²⁾、上原圭²⁾、進士誠一²⁾、松田明久²⁾、横山康行²⁾、高橋吾郎²⁾、岩井拓磨²⁾、武田幸樹²⁾、栗山翔²⁾、宮坂俊光²⁾、香中伸太郎²⁾、丸山弘¹⁾、牧野浩司¹⁾、吉田寛²⁾

1) 日本医科大学多摩永山病院 消化器外科、2) 日本医科大学付属病院 消化器外科

03-2★ プロハプトグロビンは大腸癌の予後予測マーカーとなる

○左近太佑¹⁾、森下康一¹⁾、近藤純平¹⁾、林原歩武¹⁾、田村郁美²⁾、清水佳代子²⁾、高松真二¹⁾、村田幸平³⁾、鎌田佳宏⁴⁾、三善英知¹⁾

1) 大阪大学大学院医学系研究科 分子生化学、2) 富士フィルム メディカルシステム研究開発センター、3) 関西労災病院 外科、4) 大阪大学大学院医学系研究科 病態超音波医学

03-3★ *Helicobacter pylori* 除菌後胃粘膜の遺伝子発現パターンと胃癌再発の関連の検討

○後藤千尋、中川良、堀尾亮輔、黒杉茜、園田美智子、金子達哉、兒島隆太、明杖直樹、太田佑樹、對田尚、沖元謙一郎、松村倫明、加藤順、加藤直也

1) 千葉大学医学部附属病院 消化器内科、2) 千葉大学大学院医学研究院 次世代予防医療創生講座

03-4★ がん関連線維芽細胞由来の顆粒球コロニー刺激因子 GCSF は、乳がんの増殖と骨転移に寄与する

○竹内康人¹⁾、村山貴彦¹⁾、西村建徳¹⁾、柏村里沙¹⁾、矢野正雄²⁾、田辺真彦³⁾、石川聡子⁴⁾、太田哲生⁴⁾、多田敬一郎⁵⁾、池田和博⁶⁾、堀江公仁子⁶⁾、井上聡⁶⁾、岡本康司⁷⁾、東條有伸⁸⁾、後藤典子¹⁾

1) 金沢大学がん進展制御研究所 分子病態研究分野、2) 南町田病院 外科、3) 東京大学 乳腺内分泌外科、4) 金沢大学 消化器腫瘍・再生外科学、5) 日本大学 医学部 乳腺内分泌外科学分野、6) 埼玉医科大学 ゲノム応用医学、7) 帝京大学 先端総合研究機構 健康科学研究部門、8) 東京医科歯科大学

03-5 予後予測バイオマーカーであるアクチニン-4とそのスプライスバリエントの機能解析

○三浦奈美¹⁾、吉田圭介¹⁾、本田一文²⁾

1) 日本医科大学 先端医学研究所 生体機能制御学部門
2) 日本医科大学大学院医学研究科 生体機能制御学分野

一般演題4 (★は奨励賞評価対象演題です)

14:30 ~ 15:10

司会：伊豫田明
安井 寛

東邦大学外科学講座呼吸器外科学分野
東京大学医科学研究所

04-1 新規コアフコシル化 IgG 抗体による肺癌の診断法

○大川 祐樹¹⁾、貫戸 紀子¹⁾、太田 芙美²⁾、木塚 康彦³⁾、清家 正博⁴⁾、吾妻 安良太⁴⁾、顧 建国⁵⁾、
原田 陽一郎¹⁾、谷口 直之¹⁾

1) 大阪国際がんセンター研究所糖鎖オンコロジー部、2) 理化学研究所グローバル研究クラスタ疾患糖鎖研究チーム、
3) 岐阜大学生命の鎖統合研究センター、4) 日本医科大学大学院医学系研究科呼吸器内科学、
5) 東北医科薬科大学薬学部細胞制御学

04-2 抗中皮腫抗体 SKM9-2 の糖ペプチドエピトープ認識の解析

○辻 祥太郎

群馬医療福祉大学 医療技術学部

04-3 腫瘍マーカータンパク質ファミリー、Ly6 super family の一つである
Ly6H に対するモノクローナル抗体の作製

○森脇 康博¹⁾、井上 直和²⁾、辻 祥太郎³⁾

1) 慶應義塾大学大学院 薬学研究科、2) 福島県立医科大学 医学部附生体情報伝達研究所、
3) 群馬医療福祉大学 医療技術学部

04-4 がん精巣抗原に対する腫瘍関連抗体を用いた固形がん血清学的診断法の
開発

○須磨 崎真、島田 英昭

東邦大学大学院 臨床腫瘍学講座

一般演題5 (★は奨励賞評価対象演題です)

15:10 ~ 16:00

司会：後藤典子
植田幸嗣

金沢大学がん進展制御研究所
公益財団法人がん研究会

05-1 大腸癌における KRAS Heterogeneity

○山田 岳史、上原 圭、進士 誠一、松田 明久、横山 康行、高橋 吾郎、岩井 拓磨、武田 幸樹、
栗山 翔、宮坂 俊光、香中 伸太郎、吉田 寛

日本医科大学

05-2 *In vitro* 共培養環境下における細胞外小胞の追跡系の構築

○内藤 寛¹⁾、吉田 圭介¹⁾、本田 一文^{1,2)}

1) 日本医科大学 先端医学研究所 生体機能制御学部門
2) 日本医科大学大学院 医学研究科 生体機能制御学部門

05-3 ラットの肝化学発がんイニシエーションの分子細胞機構

○佐藤 公彦

秋田看護福祉大学

O5-4 OTS- アッセイのための病理学的検討およびその応用

○阿保 亜紀子¹⁾、開 勇人¹⁾、岩谷 岳²⁾、西塚 哲¹⁾

1) 岩手医科大学医歯薬総合研究所医療開発研究部門

2) 岩手医科大学医学部臨床腫瘍学講座

O5-5 父親マウスの低タンパク食が次世代個体のがん関連遺伝子発現に与える影響

○吉田 圭介¹⁾、本田 一文²⁾

1) 日本医科大学 先端医学研究所 生体機能制御学分野

2) 日本医科大学大学院医学研究科 生体機能制御学分野

共催：アッヴィ合同会社

8：05～9：05

モーニングセミナー

司会：山下太郎

金沢大学医薬保健研究域医学系 消化器内科学 教授

MS-1 進化する肝疾患診療：臨床現場のリアルと克服すべき課題

小笠原定久

千葉大学大学院医学研究院・医学部 消化器内科学 診療准教授

MS-2 C型肝炎治療の進歩と肝癌治療における分子腫瘍マーカーの役割

中馬誠

横浜市立大学医学部附属市民総合医療センター 消化器病センター 診療教授

共催：ギリアド・サイエンシズ株式会社

11：55～12：55

ランチオンセミナー

司会：小笠原定久

千葉大学大学院医学研究院 消化器内科学

LS-1 がん治療新時代における B型肝炎ウイルスの再活性化
—現状と院内対策—

由雄祥代

国立国際医療研究センター 肝疾患研究部